



かなおと 菅直人プロフィール

[生年月日] 1946(昭和21)年10月10日

[本籍地] 岡山県

[出身地] 山口県宇部市

[出身校] 都立小山台高校、東京工業大学理学部応用物理学科

[選挙区] 東京都第18区(府中市・武蔵野市・小金井市)

[肩書] 衆議院議員(13期)、弁理士

[家族] 妻・伸子、猫2匹

- 1971～73年 「よりよき住まいを求める市民の会」などさまざまな市民運動に参加。
- 1974年 選挙を市民の手に取り戻そうと、故・市川房枝さんを参議院全国区に担ぎ出し、選挙事務長として活躍。菅特許事務所開業。
- 1976年 ロッキード事件のなか「政治に市民常識を！」と衆議院選挙に東京7区から立候補し次点。その後、衆参各1回落選。
- 1977年 故・江田三郎氏の要請を受け、社会市民連合に参加。
- 1978年 社会民主連合を結成、副代表に就任。
- 1980年 衆参ダブル選挙で初当選。
丸山ワクチン許認可問題をきっかけに不明朗な薬事行政を追及。
- 1982年 反核、軍縮運動に展開。金権政治刷新のため、“もう一つの反カク運動”に取り組む。
- 1985年 社民連政策委員長となり、医療年金、福祉、税制の問題などに取り組む。
- 1987年 「土地問題特別委員会」の委員に加わり、ライフワークの土地問題に積極的に取り組む。その後、社公民とともに「土地基本法」を議員立法として提出。
- 1989年 参院選での与野党逆転をふまえ、国民連合政権構想作りに参画。政治改革、高齢化、国際化、情報社会問題などに活動分野を拡大。
- 1992年 政策研究集団「シリウス」を結成。さらに、武村正義、細川護熙氏らと超党派の「制度改革研究会」を作り、政界再編に向けて始動。
- 1993年 5選を果たし、40年ぶりの政権交代を実現し、連立与党に参加。
院内会派「さきがけ日本新党」に所属、衆議院外務委員長に就任。
- 1994年 「新党さきがけ」に参加。政調会長となる。
- 1996年 厚生大臣に就任。薬害エイズ事件の真相究明と介護保険制度の創設に取り組む。
鳩山由紀夫氏らと民主党の結成に参加。二人代表の一人に。
- 1998年 「民友連」の4政党が統一。新しい民主党の代表に。
その後、政調会長、幹事長、代表代行を歴任。
- 2009年 10選を果たし、民主党政権を実現。
副総理、国家戦略担当大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策、科学技術政策)。
- 2010年 財務大臣
第94代内閣総理大臣
- 2011年 総理として、東日本大震災と福島原発事故対応の陣頭指揮にあたる。
総理退任後は原発ゼロと自然エネルギーの普及にむけた活動に集中する。
- 2012年 第46回総選挙で11期目(比例)当選。
- 2014年 第47回総選挙で12期目(比例)当選。
- 2017年 立憲民主党結党に参画。第48回総選挙で13期目(小選挙区)当選。
- 現在 [党役職] 立憲民主党最高顧問